

**製品名: MAP3K2 (リン酸化 Ser520) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05796**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	68kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP3K2
別名	Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 2 (EC 2.7.11.25) (MAPK/ERK kinase kinase 2) (MEK kinase 2) (MEKK 2)
遺伝子 ID	10746.0
SwissProt ID	Q9Y2U5
免疫原	ヒト MAP3K2 由来の合成ペプチド（リン酸化 Ser520）

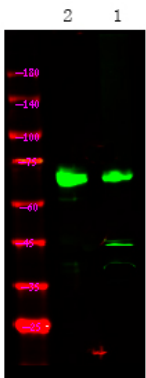
**背景**触媒活性:  $ATP + \text{タンパク質} = ADP + \text{リン酸化タンパク質}$ 。補因子: マグネシウム。酵素調節: Thr-524 のリン酸化によって活性

化される。機能: タンパク質キナーゼシグナル伝達カスケードの構成要素。MAP2K5 および MAP2K7 をリン酸化および活性化することにより、JNK および ERK5 経路を制御する (類似性による)。カベオラのキスアンドランダイナミクスにおいて役割を果たす。PTM: 自己リン酸化。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAP キナーゼ キナーゼ キナーゼ サブファミリー。類似性: 1つの OPR ドメインを含む。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。細胞内位置: EGF 刺激により核に移行します。サブユニット: 多分子複合体で上流の活性化因子と下流の基質の両方に結合します。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



マウス肝臓のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。